

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		施工体制が優れている	施工体制がやや優れている	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
1・ 施工体制	I・ 施工体制一般	<p>評価 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 適材適所にあった人材が配置されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 責任と権限が明確であり、良く機能していた。 <input type="checkbox"/> ・ 施工体制に関わる提出書類（工事着手前・工事中・完成時）が適宜提出され履行されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 現場代理人は常駐しており（兼任の場合を除く）、また不在時は事前に連絡調整した。 <input type="checkbox"/> ・ 全社的に施工体制（バックアップ・資材購入・安全パトロール・社内検査etc）が機能していた。 <p><input type="checkbox"/> ・ 該当項目なし。（評点：C）</p>				
		<p>該当 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 現場代理人は、事前の連絡がないままで現場不在の状況が多かった。 <input type="checkbox"/> ・ 工事に適した技術者又は、資格者が十分に配置されていなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 施工計画書、外注計画書又は施工体制台帳と現場の施工体制の一部が不一致であった。 <input type="checkbox"/> ・ 社内的なバックアップ体制が機能していなかった。 				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>a：全項目評価</p> <p>b：評価項目が4</p> <p>c：評価項目が3以下</p>		<p>該当対象項目のうち</p> <p>該当項目が1あれば d</p> <p>該当項目が2以上あれば e</p>		

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
1・ 施工体制	Ⅱ・ 配置技術者 （現場代理人等）	<p>評価 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 施工体制、施工状況、及び工事全体を十分に把握し、適正な工事を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 監督員との連絡調整や協議を適宜行い対応が良かった。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 契約約款、仕様書、設計図書、指針等を十分理解し、現場に反映して工事を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 書類整理、資料整理の方法に工夫が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 該当項目なし。（評点：C）</p>				
		<p>該当 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 設計図書と現場との相違について説明を求めたが、迅速な回答がなく、対応が時々遅れた。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 配置技術者は、工事をよく把握しておらず、配置技術者以外のものが管理を行った。</p>				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>a：全項目該当</p> <p>b：評価項目が4</p> <p>c：評価項目が3以下</p>		<p>該当対象項目のうち</p> <p>該当項目が1あれば d</p> <p>該当項目が2あれば e</p>		

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
2・ 施工 状況	I・ 施工 管理	<p>評価 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものであった。 <input type="checkbox"/> ・ 日常の出来形管理及び品質管理が適時、的確に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 現場内での整理整頓が日常的に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 使用機器・材料等の試験記録、品質証明書等が適時、適切に整理されていた。 <input type="checkbox"/> ・ 立会確認・段階確認が適時、的確に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 工事記録（工事写真・測定記録等）の整備が適時、的確に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 工事全体で仕様書に基づく環境対策（低騒音、排出ガス対策等）が十分に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 施工管理基準（工事監理指針・工事施工指針等）に基づく施工管理が十分に行われた。 <input type="checkbox"/> ・ 事前検査時に、検査に必要な資料が適正に提出された。 <p><input type="checkbox"/> ・ 該当項目なし。（評点：C）</p>				
		<p>該当 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 設計図書と適合しない箇所があり、文書等により改善指示を行ったが、速やかな対応がなかった。 <input type="checkbox"/> ・ 施工計画書が工事着手前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> ・ 施工管理基準に基づく施工管理が不備であった。 				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち</p> <p>a：全項目該当 b：評価項目が7以上 c：評価項目が6以下</p>			<p>該当対象項目のうち 該当項目が1あれば d 該当項目が2以上あれば e</p>	

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		工程管理が優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
2・ 施工状況	Ⅱ・ 工程管理	<p>評価 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 工程の大幅な短縮に努め、余裕を持って早期に完成させた。 <input type="checkbox"/> ・ 工程は常に監督員と打ち合わせを行い、進捗状況が把握できた。 <input type="checkbox"/> ・ 現場の地形的・地質的条件による工程調整や、関係機関、関連工事、地元などとの調整を行って、円滑な工程管理をした。 <input type="checkbox"/> ・ 時間的に制約の多い現場で、柔軟に対応して工程管理を行った。 <input type="checkbox"/> ・ 安全対策を盛り込んだ工程管理であった。 <p><input type="checkbox"/> ・ 該当項目なし。（評点：C）</p>				
		<p>該当1 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 自主的な工程管理がなされず、監督員から文書等により改善指示を行った。 <p>該当2 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・ 受注者の責により工期内に工事を完成させなかった。 				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち</p> <p>a：全項目該当 b：評価項目が4 c：評価項目が3以下</p>		<p>該当対象項目のうち</p> <p>該当1 対象項目があれば d 該当2 対象項目があれば e</p>		

考査項目	細別	a	b	c	d	e
		安全対策が優れていた	安全対策がやや優れていた	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
2 ・ 施 工 状 況	Ⅲ ・ 安 全 対 策	<p>評価 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全教育および危険予知訓練等を日常的に行い、事故および災害の未然防止に努めた。 <input type="checkbox"/> 安全施設、交通対策施設とも常に完備され、工事期間中は現場の安全点検、補修がなされた <input type="checkbox"/> 現場の条件に合った具体的な安全施工手順を作成して、それをもとに工事がなされた。 <input type="checkbox"/> 安全標識設置及び保護具の点検を日常的に行い、事故及び災害等の未然防止に努めた。 <input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検、整備が、有資格者によってなされていた。 <input type="checkbox"/> 安全関係の実施記録が、適時、適切に整理されていた。 <p><input type="checkbox"/> 該当項目なし。（評点：C）</p>				
		<p>該当 [対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切で監督員から改善指示を受けたが速やかな対応がなかった。 <input type="checkbox"/> 安全施設について外部(第三者)から指摘があったが、速やかに是正しなかった。 <input type="checkbox"/> 重要仮設などの安全チェックを怠った。 				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち a：全項目該当 b：評価項目が5 c：評価項目が4以下</p> <p>該当対象項目のうち 該当項目が1あれば d 該当項目が2以上あれば e</p>				

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		対外関係が優れていた	対外関係がやや優れていた	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
2・ 施工状況	IV・ 対外関係	<p>評価 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・適切な対外調整に関して、自ら積極的にかつ的確に対応した。</p> <p><input type="checkbox"/> ・積極的な周辺環境対策を実施し、円滑な工事の進捗が図られた。</p> <p><input type="checkbox"/> ・関係法令に対する認識が十分であった。(道交法・廃掃法・労基法・安衛法・建基法など)</p> <p><input type="checkbox"/> ・関連工事との調整を行い、監督員との連絡を密に行い、工事全体の円滑な進捗に寄与した。</p> <p><input type="checkbox"/> ・該当項目なし。(評点：C)</p>				
		<p>該当 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・関係法令に違反する恐れがあったため、監督員から文書等により指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> ・関係法令に対する認識が不足しており、工事の進捗に支障をきたした。</p> <p><input type="checkbox"/> ・対外調整が不十分で、工事の進捗に支障をきたした。</p>				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち a：全項目該当 b：評価項目が3 c：評価項目が2以下</p>			<p>該当対象項目のうち 該当項目が1あれば d 該当項目が2以上あれば e</p>	

審査項目	細別	a	b	c	d	e
		出来形管理が優れている	出来形管理がやや優れている	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
3・出来形及び出来ばえ	I・出来形・機械工事	<p>評価 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 工事の経過が、写真、工事記録等で確認でき、設計図書等を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 製作物、土工事等の出来形が管理され、検査報告書、写真等で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 不可視部分の出来形が、写真で的確に確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 自社の施工管理基準等を設定し、より高度な管理がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 自社の写真撮影計画を作成し、撮影の方法や整理に工夫が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> ・ 該当項目なし。(評点：C)</p>				
		<p>該当1 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書等で改善指示を行った。</p> <p>該当2 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>a：全項目該当</p> <p>b：評価項目が4</p> <p>c：評価項目が3以下</p>		<p>該当対象項目のうち</p> <p>該当1対象項目があれば d</p> <p>該当2対象項目があれば e</p>		

審査項目	細別	a	b	c	d	e
	工種	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない [仕様書、その他設計図書に定められた試験]		品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足し、a及びbに該当しない	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越えるものがあり、ばらつきが大きい	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る
3・出来形及び出来ばえ	Ⅱ・品質・機械工事	<p>評価 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ・承諾図で機材の性能、品質及び形状について、設計図書等との適切性確認ができています。</p> <p><input type="checkbox"/> ・製作図、施工図等での検討が十分に行われ、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> ・検査成績表、材料証明書、写真等により、機材の品質及び形状について、設計図書等との適切性確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ・工場試験成績表、試運転報告書等により、設備の性能について、設計図書等との適切性確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> ・社内検査が実施され、記録が整理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ・該当項目なし。(評点：C)</p>				
		<p>該当1 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書等で改善指示を行った。</p> <p>該当2 [対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。</p>				
判定		<p>評価対象項目の合計のうち 評価対象項目の合計のうち a：全項目該当 b：評価項目が4 c：評価項目が3以下</p>			<p>該当対象項目のうち 該当1対象項目があれば d 該当2対象項目があれば e</p>	

【記入方法】該当する項目・事例の□にvマークを記入する。

考查項目	細別	[事例]具体的な評価技術力項目及び工事事例	
4・創意工夫・高度技術	技術力キーワード一覧表 ■構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 1.対象構造物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 2.既設構造物の補強、撤去等特殊な工事	<input type="checkbox"/> 電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 <input type="checkbox"/> 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 <input type="checkbox"/> 耐震及び免震構造の工事	
	■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3.工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 4.新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 5.その他（理由： ）	<input type="checkbox"/> 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 <input type="checkbox"/> 特殊な設備システムを採用した工事 <input type="checkbox"/> VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合	
	■厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 6.雨・雪・風・気温等の影響	<input type="checkbox"/> 大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事 <input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事	
	■厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 7.地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 8.工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 9.周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 10.周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 11.騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等	<input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 <input type="checkbox"/> 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 <input type="checkbox"/> 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上（10m以下）での工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の請負者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・行人等の動線がある工事	
	■施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 12.災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 13.施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等		
	■施工関係 <input type="checkbox"/> 14.施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 15.工場加工製品等を活用し、副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 16.部材・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 17.電気・機械工事等の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 18.照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 19.運搬車両、施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 20.施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 21.改修工事における仮設施工の工夫		
	■品質関係 <input type="checkbox"/> 22.集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 23.材料の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 24.施工の検査試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 25.品質記録方法の工夫		
	■安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 26.安全仮設柵等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、） <input type="checkbox"/> 27.安全教育、技術向上講習会等、教育、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 28.酸欠対策、有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 29.ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 30.その他（例：電子マニュアルを利用した工事）		
	■施工管理関係 <input type="checkbox"/> 31.出来形管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 32.施工計画書等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 33.CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> 34.その他（電子黒板を導入し、省人化や写真整理の効率化が認められた工事）		
	■働き方改革 <input type="checkbox"/> 35.4週6休以上4週8休未滿を確保した <input type="checkbox"/> 36.4週8休以上を確保した		
	<input type="checkbox"/> ・該当項目なし		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評点 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度な技術力は、加点点評価とする。 ・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。 ・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ・ 加点は+7点～0点の範囲とする。 	<p>[創意工夫・高度技術のキーワードの詳細]</p> <p>※vマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>

※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術を要する必要があった技術を評定するものである。
 ※2. 詳細評価の記述にあたっては、工事担当部長及び工事担当課長との合議とし、各考查項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度技術力を記述する。
 ※3. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがある。